

地理学会ニュース 2018年度 第3号

法政大学地理学会 2018年12月12日発行

2019～2020年度 評議員選挙投票のお願い

本ニュースに同封されている投票用紙と投票用封筒にて、2019年1月15日（火）【必着】までに投票をお願いいたします。投票の方法の詳細につきましては、投票用紙の注意事項をお読み下さい。（選挙権のない会員には同封されておりません）

（選挙管理委員長 山口隆子）

2018年度 法政大学地理学術大会開催について

本年度の法政大学地理学術大会（法政大学文学部地理学科と共催）を下記の通り開催します。

当日は、会員による一般口頭発表・ポスター発表に加え、本年度提出された卒業論文すべての発表および第8回学会賞（最優秀卒業論文賞を含む）の発表が予定されております。

また、大会終了後の懇親会では、第8回学会賞受賞者の表彰も行われます。会員皆様、万障お繰り合わせの上、市ヶ谷キャンパスに足をお運び下さいますようお願い申し上げます。

なお、プログラムなど詳細につきましては、本会ウェブサイトにてお知らせします。

記

開催期日：2019年2月23日（土）
会場：法政大学市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎

＜一般発表の申し込みについて＞

2018年度法政大学地理学術大会での一般発表を希望される会員は、以下にしたがって指定期日ま

でにお申し込み下さい。

1) 一般発表には「口頭発表」と「ポスター発表」の2種類があります。ご希望の種別を明示してお申し込み下さい。1人あたりの申し込み数については制限がありませんので、同一人の複数申し込みも可能です。ただし、その場合は、発表ごとに「発表申込用紙」をご提出下さい。

2) 口頭発表においては、①自然地理学、②人文地理学に関するものに加えて、③地理教育に関するもの、④その他地理に関係した報告・紹介なども受け付けます。

3) ポスター発表においては、上記①～④に加えて、a) 海外調査の紹介、b) 社会的活動の紹介・報告、c) 研究・教育グループの活動紹介、d) その他本学会活動に関係する紹介・報告などを目的とするものも受け付けます。展示できるポスターは1発表につき1枚とし、大きさはA0サイズ（縦）以下でお願いします。

4) 口頭発表・ポスター発表を希望される会員は、本会指定の「発表申込用紙」（学会ニュース本号末尾に印刷されたものを利用するか、本学会ウェブサイトよりダウンロードも可能）を利用し、必要事項をご記入の上、郵便、FAX、メール添付にて下記宛てにお送り下さい。一般発表の申し込み受付は、2019年1月18日（金）までとします。

郵便：〒102-8160 千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学科教室内

法政大学地理学会集會委員会宛

FAX：03-3264-9459 e-mail：shukai@chiri.info

（集會委員長・前杵英明）

法政大学地理学会 2018 年度 第 2 回例会（巡検）の報告

テーマ：東京東部臨海地域の歴史地理 —江戸、浦安の舟運と現代臨海部の水辺空間—

11月17日（土）午前10時30分、秋晴れの好天の中、都営新宿線東大島駅大島口の集合場所には多くの参加者が集まっていました。今回の巡検の参加者は25名と多くの会員が参加され、盛況な巡検になったこと大変喜ばしく思います。参加者は通教課程の学生を中心に、高校生、一般会員（院生含む）、非会員に至り、遠く北海道からの参加者もおられ、主催者としては感慨深い巡検になりました。

今回のコースは以下の通りです。

10：30 都営新宿線 東大島駅大島口改札前集合（徒歩）

↓

10：40～11：40 ①中川船番所資料館見学（徒歩）

↓

11：40～12：10 ②荒川ロックゲート見学（徒歩）

↓

12：10～12：40 ③中川船番所跡、小名木川経由で砂町銀座商店街（徒歩）

↓

12：40～13：40 ④砂町銀座商店街にて各自小グループで昼食

↓

13：40～14：15 仙台船堀公園を經由して⑤東西線南砂町駅（徒歩）

↓

14：15～14：25 東西線で南砂町駅から浦安駅へ移動（旧江戸川鉄橋から⑥船宿街）

↓

14：25～15：15 浦安郷土博物館に移動、移動中に⑦明治時代の住宅見学（徒歩）

↓

15：15～15：45 ⑧浦安郷土博物館見学（現地解散）

↓

15：45～16：15 各自東西線浦安駅に戻る

↓

17：30～ 希望者のみ浦安駅付近で懇親会

当日は、午後若干予定より時間が押ししてしまいましたが、終了時間はほぼ予定通り、浦安駅17時頃となりました。

中川船番所資料館では、ボランティアの方に解説していただき、船番所や小名木川の歴史に関して、たいへん貴重な知見を得ることができました。そこから目と鼻の先にある、荒川ロックゲート（閘門）では、運良くプレジャーボートとカヤックが荒川放水路側に出ていく場面に遭遇し、ロックゲートの開閉過程をつぶさに観察でき、参加者は皆興奮していました。そこで若干予定より時間を取ってしまいましたが、船番所跡を經由して小名木川沿いを西に徒歩で約1km移動し、江戸時代から現在にいたる小名木川岸壁補修の痕跡がみられる見学場所に着き、江東区の地盤沈下の激しさを実感しました。

小名木川岸壁を後にして、我々は1969年頃から日本住宅公団（現在のUR）によって整備された巨大な大島地区団地の中を南へと歩を進め、昭和の雰囲気の色濃く残す砂町銀座で昼食をとりました。さまざまな総菜、焼き鳥、おでんなどが並ぶ風情ある商店街で参加者それぞれが好みの昼食を堪能しました。ちなみに砂町銀座は2005年に日本経済新聞社が行った、訪れてみたい商店街コンテストで全国第3位に選ばれました。

昼食後、東京メトロ東西線の南砂町駅に向かってさらに南下しました。南砂町駅は、干拓地と埋立て地のちょうど境目に位置しており、それぞれの標高の違いを「段差」を見ることで実感していただきました。また南砂町駅の入り口は高潮対策のため、いったん階段で上がってまた下がるというたいへん興味深い構造をしていることも確認しました。東京メトロ東西線で浦安駅に移動する間に、車窓から旧江戸川の鉄橋を渡る時、川沿いに昔の漁師町の名残が残る船宿街をみていただきました。

浦安駅からまた徒歩で南に1.5kmくらい行ったところにある、浦安郷土博物館を目指しました。途中で明治時代の商家である旧宇田川家住宅と江戸時代の漁業と農業を営んでいた旧大塚家住宅（いずれも文化財）を見学し、博物館に着く頃には、やや皆さん疲れぎみでした。もう

少し歩く距離を考えたプランを立てるべきだと反省しました。浦安郷土博物館では、浦安沖埋立て前の昭和30年代の浦安の町並みを復元したミニ浦安セットや、アサリやハマグリ漁で使った漁船、また浦安の自然景観、埋立ての歴史から、現在のディズニーランドの町となるまでの、激動の浦安の歴史を展示物から学ぶことができました。

みなさんお疲れのようだったので、当初は浦安駅まで歩いて帰る予定でしたが、100円で乗れるコミュニティーバスに分乗して帰ることにしました。巡検としてはそこで終了とし、懇親会に参加されるかたは、浦安駅に17時再集合ということにしました。懇親会も25人中18人も参加していただき、大変盛会となりました。

日が暮れる中、一日中歩いて少しハードな巡検でしたが（25,000歩くらい）、ほぼ予定通りに巡検を行う事ができました。今回の巡見は気軽に参加できる東京都内の（一部千葉県）実施したため、バスなどの予約が必要なく、比較的気軽に実行できました。東京近辺にはまだまだ見るべき巡検コースがたくさんあります。こうした強みを生かして、今後も参加しやすい巡検を実施できればと思っています。

（集会委員長・前杵英明）

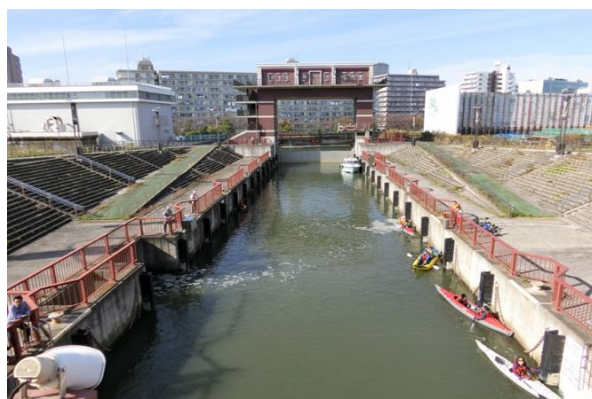


写真2 稼働中の荒川ロックゲート



写真3 小名木川旧護岸前にて



写真1 大島小松川講演にて（集合写真）



写真4 浦安郷土博物館にて

会員動向

【入会】(2018.9.22～11.30, 敬称略, 申込順)

- ・[一般] 後藤 秋人(東京)
- ・[学生] 小野 成孝(埼玉)／吉田 桂子(東京)／佐々木 徳子(東京)／臼井 範和(東京)

住所不明者(敬称略)

阿部智臣・後藤良太・佐藤功・田口圭子・塚本裕子・吉田正人

上記の方の連絡先をご存知の方がいらっしゃいましたら、学会まで連絡先をお知らせいただきますよう、ご本人様にお声がけをお願いいたします。

会計委員会より

今回のニュース発行・送付に合わせて、一部の会員様については会費納入状況のお知らせを同封いたしました。現在、2015年度以前から会費未納の方については機関誌・学会ニュース等の発送を停止しております。会費未納の会員様におかれましては速やかな納入をお願いいたします。

本学会は会員皆様の会費によって運営されておりますので、その点をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

法政大学地理学会「地理学研究奨励金」授与の実施要項

地理学研究奨励金授与選考委員会統括担当者
大塚 一雄 (法政大学地理学会副会長)

標記の奨励金は、本会学生会員、および大学院生の研究を奨励する一環として位置付け、本会『特別会計』の経緯に則り、その一部をこの原資に充てる。なお、本奨励金授与に関する実施要項は以下のとおりである。

1. 本奨励金は、本学に在籍する本会学生会員(通学部生、通信教育部生)、および大学院生

から、本会の機関誌「法政地理」に投稿・掲載された報文を対象に審査をして授与する。

2. 授与対象とする報文には、本学在籍中に投稿された報文に加え、学位論文(学士論文、修士論文)をベースとした報文も含む。ただし、学位論文をベースにした場合には、本学へ学位論文を提出した翌年度までの本会機関誌「法政地理」に投稿・掲載された報文を対象とする。
3. 学生会員、ないし大学院生から成る共同執筆の報文も授与対象として認める。ただし、その場合、筆頭執筆者を本奨励金の授与対象者とする。
4. 本会の機関誌「法政地理」に投稿・掲載された報文を授与の審査対象とし、「地理学研究奨励金授与選考委員会」がその選考の任に当たるとする。
5. 本奨励金の授与額は一遍 15 万円を上限とし、上記4の選考委員会が報文内容をもとに審査して授与額を決定する。
6. 本奨励金の授与は、毎年度の本会総会時に上記4の選考委員会の長が授与者に行う。
7. 本奨励金の授与は、2018年度から実施する。

以上

〈〈学会ニュース原稿の募集〉〉

法政大学地理学会ニュースに掲載する原稿を広く会員の皆様から募集しております。原稿のご相談は、下記の連絡先までお願いいたします。

連絡先：庶務委員会(shomu@chiri.info)

(庶務委員長 米家志乃布)

2018年12月12日発行

編集 法政大学地理学会庶務委員会

発行 法政大学地理学会常任委員会

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

Fax. 03-3264-9459

E-mail hoseichiri@chiri.info

Web <http://www.chiri.info/index.html>

郵便振替 00170-9-167442